

学生時代から「いい治療を追求する」という思いで学び、開業してからも「パーソナルベストを更新する」を目標に、治療の高みをめざし続けています。だから、気力、体力、知力の限りを尽くして、これからも歯科診療の臨床に携わっていきたいです。そのためには、日常の歯科医師の健康的な生活に配慮しています。日課のランニングなどの運動や食事を大切にしています。具体的には、休日にマラソン大会や登山やスキーをしているのも、無農薬の玄米食を基本にホールフードを自分で料理した食事を大切にしています。それが、治療のための体力をキープするためにもなります。こちらが健康で元気でないといい治療はできませんし、そこにエネルギーを注ぐこともできませんからね。

KaVoは世界的なブランドではありますが、私たちはブランド品だからKaVoを導入しているのではありません。いい診療をしようと思えば、いい材料が必要だと考えているから。あくまで診療レベルを高めるために選んだのがKaVoなんです。

患者さんにとって「いい治療」とは何か。それはおそらく、患者さんごとに違うと思います。でも、どんな治療が「いい治療」なのかを知っていることが、歯の専門家である条件ではないでしょうか。同じように、いい材料を知っているのもプロの条件。ベストな治療を提案して実行するために、何をすべきか知っているか知らないかで、治療品質は大きく変わってくると思います。

Boys be ambitious!(少年よ大志をいだけ!)というクラーク博士の有名な言葉があります。では、少女は、どうなのでしょう?私は、性差に関係なくambitiousを抱かなくとも人は、既に持っているのです。その志を高めていけばいいと解釈してます。

人の心に潜在的にあるものを気づくだけ、みんな、それぞれにあるはず。出し切れないだけだと思います。私は大志をいただくのではなく、自分の志に気づいて、高めることだと思ってます。男尊女卑の時代に生まれた男性だけを対象にしたフレーズに見える名言も、ちょっとだけ違う見方をしたら、女の人も元気になるんじゃないかなと思ってます。(笑)

Customer Information

那須歯科
 541-0048
 大阪市中央区瓦町3-4-8 アサヒビル3F
 tel. 06-6222-1112 fax. 06-6222-4618
 nasu1995@gmail.com



院長 那須 恒彦 先生

大阪大学歯学部卒業
 歯内療法学会専門医
 小嶋会

〈趣味〉
 テニス
 トレイルランニング



那須 晶子 先生

大阪教育大学教育学部卒業
 大阪大学歯学部卒業
 小嶋会
 アレキサンダー会
 歯内療法学会 所属

〈趣味〉
 アルペンスキー
 トレイルランニング

Freunde(フロインデ)はドイツ語で友達を意味します。
 KaVo Freundeであるユーザーの皆さまに長く弊社製品をご愛顧いただけますようサービス向上に努めています。



カボ デンタル システムズ ジャパン株式会社

本社 〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35 Tel.03-6866-7480 Fax.03-6866-7481
 札幌支店: Tel.011-716-4694 Fax.011-716-4692 仙台支店: Tel.022-772-7375 Fax.022-772-7376
 東京支店: Tel.03-6866-7480 Fax.03-6866-7481 名古屋支店: Tel.052-238-1146 Fax.052-238-1567
 大阪支店: Tel.06-7711-0450 Fax.06-7711-0451 福岡支店: Tel.092-441-4516 Fax.092-472-1844
<http://www.kavo.jp>
 VECBPF1804V1 EQU-080

KaVo Freunde Interview

歯科医師の性別にとらわれない、こだわる診療

大阪市中央区本町で1995年からご開業の「那須歯科」那須恒彦先生と晶子先生。
 歯科医師としての「志」を大切に、患者さんにとって最高の治療を目指している
 お二人に、KaVoが診療にどう貢献しているのか伺いました。



**最高の治療の実現を助けてくれる
 マテリアル—それがKaVo**

那須歯科

院長 那須 恒彦先生 那須 晶子先生



「KaVoが一番」 恩師のひと言に共感

—開院当初からなぜ、KaVo トリートメントユニットを導入されているのでしょうか?

導入のきっかけは恩師のひと言。講習会講師の小嶋壽先生が、KaVoのことを「モーターやバキュームのレベルはKaVoが一番」「1分間に60mlの温水が出るところなど、ほかのメーカーよりはるかに優れている」と絶賛されていました。



私は開業当初から、保険自費診療全てに、私自身が受けたいと思えるような良質な治療を患者さんに提供したいと思っていましたので、歯科医院で使う設備や材料についても、最初から最高品をと考えていました。だから迷わずKaVoトリートメントユニットを3台導入、以来23年間にもう1台導入しました。

勤務医の時代に他社製のモーターやバキュームを併用していましたが、KaVo社製が優れていると実感していました。四半世紀ものKaVoユーザーです。時が経つのは早いですね!(笑)

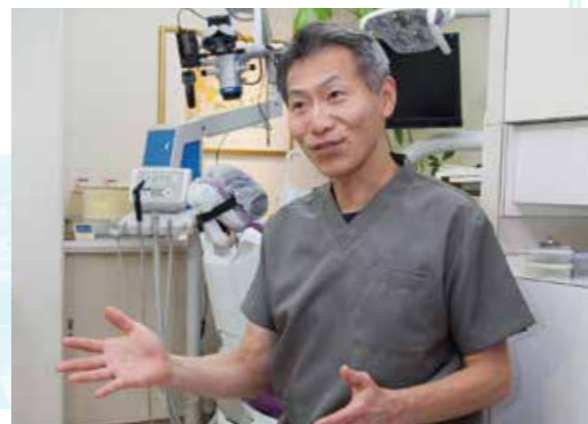


毎分60mlのスプレー・しみにくい微温水

—実際に使ってみた感想をお聞かせください。

恩師が絶賛していた通り、KaVoのマイクロモーターはとても優れています。開業祝いに知り合いの歯科医師が当院を訪ねてきてくれた時です。KaVoのコントラを手にしてモーターを動かしました。そして、「これ、本当に動いているの?」と私に質問してこられました。手に振動を感じなかったのです。つまり、芯ブレを起こしていないという証ですね。その歯科医師は、自家用車も歯科のユニットも日本製が1番良いと迷信してKaVoに触れたことがなかったのです。知らないままで人生を過ごすよりKaVoという材料に出会う方が、幸せですね。

それに、歯の神経を保護しながら削ろうとすれば、KaVoのような高品質マイクロモーターと5倍速コントラの組み合わせがどうしても必要です。1分間に30万回転するタービンで歯を削ると、発熱によって神経を傷めてしまう可能性があります。歯の神経はデリケートです。10度の温度上昇で60%死んでしまうのです。この事実をもっと多くの歯科医が知らなければなりません。歯の神経を守り、かつ精密に削るには10万回転ほどでも削れるトルクが高く、そして体温と同じ温度で毎分60ml以上の温水が出るマイクロモーターが必要です。他社のユニットのマイクロモーターではトルクが無いので思うように削れません。多くの歯科医師はとかく、治療効率を重視するあまり、タービンで歯をできるだけスピーディーに削ろうと考えますが、私の信条は、スピードを優先する治療ではなく、患者さんにとって最適な治療を提供すること。



■患者さんにとって最適な組合せ

イントラ LUX KLモーター 703LED

少ない振動で静かな
高トルクのモーター回路により
インスツルメントが安定回転



KaVoマスターマティック LUX M25L

5倍速コントラアングル
トリプルギアシステムの採用により振動を抑制、
高トルクでハイパワーが得られ、思い通りの切削



KaVo master series

—「自分自身が受けたいレベルの治療」を実現するために、最高の材料が必要だということですね。

そうです。当院は大きな看板を出していないし、ホームページも作っていません。当院の患者さんは、ほとんどが口コミで来院されている方々です。宣伝活動ではなく、全力を傾けた日々の診療に向かう

姿勢からと自負しております。当院の治療に満足され、信頼して下さった方が、自分のご家族や友人に「あの歯科がいいよ」と紹介して下さっています。その信頼を裏切るような治療はできない。だから、最高の材料を使って、質の高い治療をどこまでも追求する必要があります。

確かにKaVoは高いです。でも良いものは高いのが当たり前です。私の知人にも、KaVoを導入したかったけれども、資金を節約したくて、別メーカーのユニットを選んだ歯科医師もいます。でも、私たち歯科医は、1週間のうち5~6日を歯科医院で過ごし、1日の覚醒している大半の時間を治療に費やしています。そう考えると、自分のお気に入りのいい材料を使ったほうが診察が楽しいです。

実は私は、長らく車を持っていなかったのですよ。たまにしか乗らない車にお金をかけるより、毎日使うユニットにお金をかけたいというのが私たちの価値観です。それに、コストを考えて品質が落ちるものを導入してしまうと、買い換えのときにかえってお金がかかります。安価な他のユニットを入れてKaVoと混在させてしまうのも、使い勝手の違うものをスタッフに操作してもらうことになり、混乱のもとになります。衛生管理や在庫管理にも手間がかかりますしね。それなら、結果的にコスト面で有利になると考えています。

いい材料があるから、治療レベルの高みをめざせる

—KaVoトリートメントユニットが患者さんにもたらすメリットはありますか?

チェアの座り心地が抜群なところが、患者さんにとって大きなメリットだと思います。このチェアに座ると、患者さんが眠るんですよ。それだけ身体に負担がかからず、リラックスできるということです。

当院の治療は、基本的に1人1時間を目安にしています。1日に診ることができる患者数は、歯科医師1人あたりにつき最大8人程度です。これくらいゆったりと時間をとったほうが、患者さんにはいいと思います。あくせくしないというのも、患者さんの信頼に結びついている気がします。

タービンであれ、5倍速コントラのマイクロモーターであれ、歯を削られているときの振動はゼロではありません。患者さんにとって「削られている感触がある」という点では同じだと思います。だからこそ大切なのが、きちんと治療してもらっているという安心感。口を開けている患者さんには、治療の様子は見えませんから、どれだけ「この医師に任せておけば安心」という感覚を持っていただくかが重要です。



いい材料を使っていれば、私たちの中に「いい治療をご提供する」という技術の自信が生まれます。当院には、根管治療を望んであちこちの歯科をさまよった末に、ようやくここにたどりつかれた患者さんもいらっしゃいます。そうした方に満足していただくためにも、いい材料を使うことで得られる自信やプライドは大切だと思います。

—最後に、女性歯科医師や開業を考えられている先生にメッセージをお願いします。

いま、歯科医師をめざす女性が近年増加しています。私が大阪大学歯学部在学中は、生徒90人中11人が女性でした。近年は、女生徒の数のほうが増えているそうです。私も女性ですが、女性であることを意識したのは妊娠・出産のために仕事を休んだ5ヶ月間だけです。治療の質や歯科医師としての人間性というところでは、男性と女性の性差の違いよりも志の高さの違いの方が差が出ると思います。